

NSN通信

Nursing Students from Niigata
第8号/2023年2月

<発行>
高等教育コンソーシアムにいがた
看護系大学タスクフォース
第4号担当→新潟青陵大学
第5号担当→新潟大学
第6号担当→長岡崇徳大学
第7号担当→新潟県立看護大学
第8号担当→新潟医療福祉大学



高等教育コンソーシアムにいがた看護系タスクフォースが制作するニュースレター「NSN通信」
今号は新潟医療福祉大学の「連携教育活動」について、ご紹介します！

昨年8月29日～9月2日にかけて3年生・4年生を対象に「連携総合ゼミ」が行われました。連携総合ゼミは、看護学科を含めた本学13学科の垣根を越えて混成された学生・教員が1つのチームをつくり、特徴的な事例（実際の事例や模擬患者等）についてグループワークを行います。これらを通して、対象者のQOL向上に向けた支援策について意見交換し、発表します。写真は、糖尿病患者の事例についてチームで検討している様子です。このように、互いの職種の理解やチームワークについて実践的に学んでいます。



3年生の臨地実習に向けて、救急救命学科の学生・教員と看護学科の教員が協同し「プレホスピタルケアの実際」という動画を作成しました。プレホスピタルケアは、傷病者発生から病院に搬送・到着するまでの救急医療のことです。1分1秒を争う中で切れ目なく適切な医療を提供するためには救急隊と医療者との



綿密な情報共有・連携が必要です。動画を視聴した学生達は救急救命士の活動の実際について理解を深めていました。

新潟医療福祉大学看護学部看護学科
教員 渡邊千春

3年生から後輩へのメッセージ

新潟医療福祉大学看護学部看護学科 3年 江口真央

病院実習では、患者さんとの関わりのなかで、どのように病気と向き合い、何を大切に生活されてきたのかを理解するために、寄り添う看護の大切さを学ぶことができました。そして、患者さんの思いや願いを引き出し、望む生活を支援できることが看護の醍醐味ではないかと思います。

ぜひ皆さんには、自らが目指す看護師像をもち、頑張っって欲しいと思います。

新潟医療福祉大学看護学部看護学科 3年 堤由妃

私は看護師という職業を目指すことに不安な思いを抱いた中、大学生活が始まりました。しかし、実習での患者さんとの出会いを通して、抱いていた不安を払拭することが出来ました。「看護の実習は辛い」というイメージを抱いている人も多いかもしれませんが、その辛さを乗り越えると、人として成長できたと感じることが出来ます！



<問い合わせ先(第8号)>

高等教育コンソーシアムにいがた看護系大学タスクフォース

新潟医療福祉大学 看護系大学タスクフォース担当（総務部社会・産官学連携課：大竹）

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 TEL：025-257-4455